

vol.3 では、ちょっと予定を変更して「サーフィン大会の基礎知識」を紹介します！

### 🌀 試合の仕組み

競技スタート方法は陸（砂浜）からの「ビーチスタート」と海の中からの「ウォータースタート」があり、試合開始の合図はホーンとフラッグの色で知らせます。試合中はグリーンフラッグ、終了3分前からはイエローフラッグ、終了はレッドフラッグを、競技中の選手に分かるように高い位置に掲げます。

1ヒート（1試合）の競技時間は15分～20分程度、ジャッジが区別できるように選手は赤、白、黄、青、緑のゼッケンを付け、4名～5名で海に入ります。



試合の状況を知らせるフラッグ

### 🏄‍♂️ ルール

開会式の時に、ジャッジ委員長からコンテストルール、スケジュール、ヒート（試合）時間、マキシマムウェーブの本数（1試合中に乗っていい波の数）などが説明されます。全部の波に自由に乗れるわけではなく、一般的にはブレイクする波、ピークの一番近くにいる選手に優先権があるので、波のどのポジションにいるかに注意して、自分に優先権がある時に乗ります。また、先に乗っている選手と同じ方向の波に乗るなどの妨害行為は減点の対象となってしまいます！



選手たちのカラーゼッケン

### ☂️ 採点方法

4～5名のジャッジが採点します。各ライディング、得点の一番高いジャッジと一番低いジャッジの採点をカットして、残りのジャッジの得点を平均したものを1ライディングの得点とします。そして、1ヒート（試合）中に出した高得点の2本のライディングの合計点はその選手の最終的な得点となります！



ジャッジブース

その得点が高い順にそのヒートの順位が決まり、一般的には上位2名が次のラウンドに進出します。大きな大会では随時ライディングの得点がコールされるため、選手及び観戦者も大会がよりリアルタイムに分かるようになっていきます！



採点表

### 📷 技の種類

いくつもある技の中から、4つをピックアップしてご紹介します！

#### ボトムターン



波の下の方で大きく深くターンする技です。波のボトム（底）は傾斜がなく、加速しないので、波の斜面を一気に降りきった惰性と遠心力を使ってターンするのがボトムターンの最大のコツになります。

#### カットバック



サーフボードの進行方向を180度変える技です。押し寄せる波はどこまでも続いているわけではなく、やがて消滅します。消滅ポイントに到達する前にカットバックで方向転換し、再び波のトップに向けて走りだします。

#### リエントリー



サーフィンライディング中いったん波から離れた場所に板を走らせて再び波のトップに戻ってくる技です。カットバックとリエントリーのサーフィントクニックを合わせてラウンドハウスカットバックと言ったりもします。

#### エアリアル



波のボトムから駆け上がるエネルギーを利用して空中に舞上がる技です。しかし、着地で失敗すれば得点は付きません。動いている波に再び舞い降りるのは至難の技です。



# 大会まであと 38 日!

VISSLA  
ISA  
WORLD  
JUNIOR  
SURFING  
CHAMPIONSHIP  
SEPTEMBER 23-OCTOBER 1  
HYUGA, JAPAN

